

けやきっこだより



令和5年度
都城市立梅北小学校
学校だより No.19
電話 0986-39-4195
Fax 0986-39-4194
文責：平部

自分から進んで挨拶ができる人に・・・

朝、横断歩道のところに立って、安全指導をしています。その時の子どもたちの挨拶は様々です。自分から「おはようございます。」という挨拶をしてくる子どもがいれば、中にはこちらが挨拶をしても挨拶が返ってこない子どももいます。そんな時は、この子どもは家を出てくる時に何か嫌なことがあったのかなと考えるようにしています。しかし、恥ずかしいのか、全く挨拶ができない【PTA生活指導部の方による朝のあいさつ運動の様子】い子どももいます。そのような子どもに出会うと、正直、このまま成長していっても大丈夫だろうかかと心配になります。



梅北小ホームページ
QRコード



大人社会では、挨拶ができるのは当たり前です。少なくとも、挨拶ができるかできないかで、その人の印象はずいぶん違ってきます。挨拶は人と接する時の礼儀であり、コミュニケーションの第一歩だと思えます。学校には、社会性をはぐくむということも求められていますので、挨拶の指導は適宜行っていますが、学校だけでは限界があります。このことから、御家庭でもお子さんに自分から挨拶することの大切さをぜひ伝えてください。また、親が挨拶する姿を子どもに見せていただけると幸いです。子どもは、「親が言う通りにはしないが、親がするようにする。」という言葉もありますので、御理解と御協力のほどよろしくお願い致します。

租税教室（6年）

2月1日（木）、6年生を対象に社会科の学習の一環として租税教室が行われました。授業では、まず、講師の方からリーフレットに基づいて身の回りの税金に関することや納税の大切さ等について説明を聞きました。その後、税に関するビデオを視聴したり、100万円と1億円の量感や重さを体感したりしました。とても楽しく税について学ぶことができたようです。

社会科では「納税の義務」等を学習しますが、今回の租税教室は、税を身近に感じ、税について理解を深めるよい機会になったようです。



避難訓練（火災）

2月6日（火）に、理科室からの出火を想定した避難訓練を行いました。実際に非常ベルを鳴らして、運動場に避難するという訓練でしたが、子どもたちは真剣に取り組むことができました。

当日は、消防団の方を2名お招きして、都城市の火災の状況や出火原因等について話を聞きました。火は生活に欠かせない便利なものですが、使い方を間違ってしまうと尊い命や財産を失ってしまう怖いものであることにも気づけたのではないかと思います。

